

授業計画（シラバス）

■科 目	病理学・口腔病理学		■講師名	玉村 亮
I 部 1 学年	中期	15 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 30 時間	講義 2 単位
■学修概要				
<p>病気の原因および身体に生じる変化について学ぶ。前半は総論として6大病変について、後半は口腔に発生する多種多様な疾患について学習する。</p>				
■授業目的、到達目標				
<p>病気の本態（原因、成りたち、経過、転帰を含む）について理解する。 病理学は基礎医学と臨床医学の境界に位置する学問であり、歯科衛生士として必要な知識を習得する。</p>				
■授業方法				
<p>パワーポイントスライドを用いた講義を行う。</p>				
■教科書（書籍名・出版社）				
<p>歯科衛生学シリーズ／病理学・口腔病理学 医歯薬出版</p>				
■成績評価・講義上の注意				
<p>定期試験（筆記試験）および授業態度から総合的な評価を行う。 講義内容は広く多岐にわたるため、予習・復習が必要である。</p>				
■実務経験				
<p>歯学部口腔病理学講座教員として、講義（大学、看護学校、歯科衛生士学校等）、研究、また大学病院での病理診断業務に携わった経験があり、実務経験に基づいた講義を行う。</p>				
■授業計画（講義の流れ）				
1	病因論、遺伝性疾患と奇形			
2	循環障害			
3	代謝障害と退行性病変、増殖と修復			
4	炎症			
5	免疫応答異常			
6	腫瘍			
7	歯の発育異常、歯の損傷と着色・付着物			
8	う蝕			
9	象牙質・歯髄複合体の病態			
10	歯周組織の病態			
11	口腔粘膜の病変			
12	口腔領域の嚢胞と腫瘍			
13	口腔癌、顎骨の病変			
14	唾液腺の病変、口腔領域の奇形、口腔組織の加齢変化			
15	定期試験、解答解説			